



浄土真宗本願寺派 小倉御坊

永照寺

http://www.eishouji.or.jp

小倉御坊 永照寺だより

Vol.215

2022年3月

御坊(ごぼう)とは、本山の別院、またはこれに準ずる寺院の称(真宗新辞典より)

年頭初参会法要
懇志御礼

石河 信保 様	林 健次 様	兒玉 美恵子 様
青木 智恵子 様	市川 晴美 様	川本 田鶴子 様
運木 和子 様	舩友 謙治 様	高木 千代美 様
丸尾 鈴子 様	穂山 淳子 様	

宗祖命日
2022年2月の参拝者 12名 順不同・敬称略

茶屋本 廣喜 (小倉南区)	増田 和久 (小倉南区)	延吉 政彦 (小倉南区)	本多 義宏 (門司区)
崎田 元信 (小倉南区)	天神 正行 (小倉南区)	天神 光介 (小倉南区)	岡本 隆夫 (小倉南区)
古野 貞幸 (小倉南区)	白石 益三 (門司区)	山口 綾子 (小倉北区)	千葉 登美子 (小倉北区)

お寺の
掲示
板

一言に
込める
願い
や
息白し

ひとこと
いきしろ

お寺の掲示板上には
住職・前住職が「毎月」言葉を書いて、
通りがかりの人がメモをしたりしています
「意味を覚えてもらいたい」と、
たずねられることもありますので
この「お寺の掲示板」のコーナーで
お伝えしていきます。

〈掲示月〉2022年(令和4年)2月



今月のことばは、島根県の青年僧侶、能美顕之さん(1977〜)の句です。

この句とは、直接の関係はありませんが、平成25年の鹿児島市教育委員会発行の「こころの言の葉」第11集に収められていた『心の中で』という題の文から『毎朝、「早く起きなさい」から始まって、一日に何回しかられるだろう。「聞いているの? あんたみたいに、毎日注意される子、いないかもよ」という母に「いちいち、うるさい。私、いま反抗期」と口答えた。「ああ、そっね。あんたが反抗期なら、私は更年期」と母が応戦してきた時は、思わず笑ってしまった。この頃は、面倒くさがり、うるさがり、だんまり、そんな繰り返し。

生まれる前から、私に障害があることを聞かされていた母は、ど

んな思いで私を産み、育ててきたのだろう。そして、今はどう思っているのだろう。小さい頃のように素直になれたら、もっと楽なのに。

「ごめんなさい」母の背中に、心の中でそつとつぶやく。

寒い季節、「ごめんなさい」が口に出たときは、「ごめんなさい」の一言に込められた、あたたかな気持ちが、白い息になることでしょう。

「南無阿弥陀仏」は「われにまかせよ、そのまま救う」阿弥陀様のおよび声、南無阿弥陀仏の六字にこめられた、願いの深さ、尊さを味わっています。

3月の行事予定

16日(水) 宗祖命日 朝7時より永照寺本堂

18日(金) 婦人会例会は、お休みします。



ぼんぐ
凡愚のつぶやき

あっという間に年度末になりました。なんとか無事1年の行事を終えることができそうです。さて2022年度…取り組んでいく事業は多々ありますが、とりいそぎホームページをリニューアルしていく予定です。詳細は次号でお知らせいたします。



お知らせ

- お経本は床に置かないでください。
- 毎月16日は親鸞聖人命日(おあさじ)にお参りください。
- 住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。
- 最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。(特にお寺で法事をする場合)

永照寺 【開門・閉門の時間】 ●開門…6時30分 ●閉門…18時



行事予定やお参り・法要などの連絡事項は「ホームページ」にて随時更新しています。 離れて暮らすご家族にもオススメください。

ホームページに関してのご意見、ご希望、メールをお待ちしています。
<http://www.eishouji.or.jp/>

北九州 永照寺 Q 検索

Blog Bonguan
凡愚庵

永照寺:住職のブログ【凡愚庵(ぼんぐあん)】も合わせてご覧いただければ幸いです。
左記のホームページ内に移転しました。



モバイルはこのマークをカメラで読み込んでください。

小倉御坊 永照寺だより

2022年3月号(第215号) 2022年3月1日発行

福岡県北九州市小倉北区大手町16-16 永照寺 TEL:093(582)7676 FAX:093(591)4989

【郵便振替口座番号】01790-4-46276 永照寺志納所

新連載
漫画

お坊さんのひとりごと

ありたに けんゆう

寒い日のお参り



良いお香



短いお経で...



ずっと...



※400年以上昔、本願寺は現在の大坂城の地にありました。
織田信長から11年間にわたって攻められましたが、先人たちはそのような戦火の中でも
欠かす事なくお勤めをされていたそうです。
毎日16時から営まれる本山の日没勤行は、普段は30分以上かかる正信閣を
5分程度で読み切ってしまう庄巻のお勤めで、その名残を今に伝えます。

住職の法友の有谿賢友さんの漫画「お坊さんのひとりごと」

有谿さんは僧侶と漫画家二足の草鞋を履き、宗門の様々な冊子に漫画を掲載しています。どうぞ毎月楽しみにしてください。

